

一九三九年

誰も望まなかった

戦争

1939

A People's History | The War Nobody Wanted

Frederick Taylor

フレデリック・テイラー
清水雅大 訳

誰も望まなかった
戦争が

なぜ起きたのか？

第二次世界大戦

開戦の前夜の一年間、

英独の普通の人びとの

日常生活と心情、

その変化を活写する。

一九三九年は

今まさに

再現しつつあるのか……

英国の歴史家による

示唆に富む書。

口絵写真16頁、地図収録

白水社



1. 左からムッソリーニ、ヒトラー、ダラディエ、チェンバレン
1938年9月29日、ミュンヘンのフューラーハウで会談が始まる



2. ミュンヘン危機の後、イギリス市民は自宅の裏庭に
「アンダーソン」防空シェルターを設置した



20. ブレーテンラントの工業都市アウスイヒのウースチーナットの街をへて
住民の熱狂的な歓迎を受けるドイツ軍 1933年10月初旬



21. 打ち壊されたユダヤ人商店のショーウィンドウ 1933年11月10日、水晶の夜 の後
通行人のなかにはこの破壊行為を楽しんでいるような者もいる



27. トービス映画のスター俳優たち
ミロンベンで1939年の年明けを祝っている

28. 歓喜力行団が
民族同胞のために用意した
イタリアへの船旅 1938/39年の冬



29. 1939年1月、50歳の誕生日にベルリンで軍事パレードを視覧するヒトラー
その右側には、不幸な子、この大統領エミール・ハーバーストをかかっている人物が、
ローマの勝利に際して捕えられた蛮族の長のようにさらされている





31.国民車「ビートル」によるVW車の広告。見ると平和的に見えるが、小さな男の子が後ろにおもちゃの大砲を引いているのに気づく。



32.ベルリン・ヴァンゼー湖畔のビーチで新聞を読む観光客
1939年3月下旬 反ホーランド・フロハガンダが見出しを飾っている
拘束された人質、収容所に拉致され73万人のドイツ人が恐怖する場所

凡例 ◆ 10

序 ◆ 11

第1章 一九三八年九月

「つまり、戦争はなくなった」 ◆ 20

第2章 一九三八年10月

「ヒトラーよりも人気」 ◆ 61

第3章 一九三八年11月

まるで追い立てられる野ウサギのようだ ◆ 102

第4章 一九三八年12月、一九三九年冬

徴兵して男たちが家からいなくなるってこと ◆ 153

第5章 一九三九年春

またしてもヒトラー、だが心配無用！ ◆ 206

第6章 一九三九年四月、五月

我々はみな総統を、深く、深く愛している！ ◆ 261

一、

第7章 一九三九年六月、七月

「晴れ、晴れ、晴れ、レニも青空と太陽に恵まれている」 ◆ 319

第8章 一九三九年八月、日1、2、3、4日

「ダンツイヒのために死ぬ？」 ◆ 373

第9章 一九三九年八月、日1、2、3、4日

「祖母死す」 ◆ 405

第10章 一九三九年九月、日1、2、3、4日

「こうして狂気に満ちていく」 ◆ 455

謝辞 ◆ 522

訳者あとがき ◆ 523

口絵写真クレジット ◆ 53

出典 ◆ 63

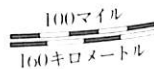
原注 ◆ 8

人名索引 ◆ 7

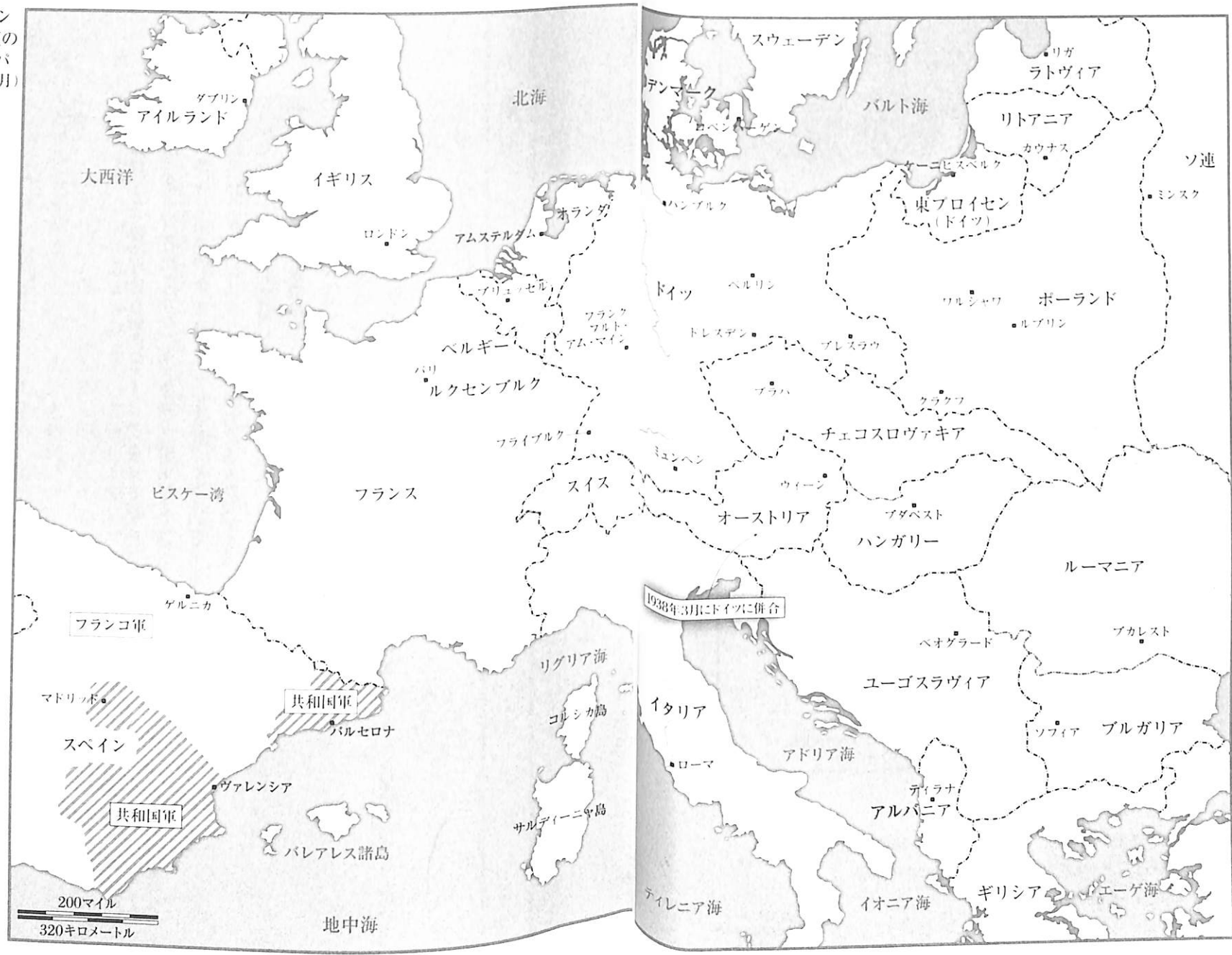


第二次世界大戦前にヒトラー・ドイツが獲得した領土

- 1938年9月 スデーテンラントの併合
- ▨ 1939年3月 チェコスロヴァキアの解体。ベーメン・メーレン保護領の設置
- ▨ 1939年3月 スロヴァキアにドイツ軍が駐留する「保護区域」を設置
- ▨ 1939年3月 メーメルラントの併合
- ドイツ帝国



ミュンヘン
会談前夜の
ヨーロッパ
(1938年9月)



訳者略歴

清水雅大（しみず・まさひろ）

一九八三年、福岡県生まれ

二〇一四年、横浜市立大学大学院国際総合科学研究科博士後期課程修了、博士（学術）

日本学術振興会特別研究員（P.D.）等を経て、

二〇二二年四月より帝京大学経済学部講師

専門は国際関係史、日独関係史

主要業績

『文化の根軸』

『戦前日本の文化外交とナチ・ドイツ』（単著、九州大学出版会、二〇一八年）

『極東ナチス人物列伝：日本・中国・満洲国』

に懸いた異端のドイツ人たち』（共著、作品社、二〇二一年）

翻訳

ハルトムート・ケルブレ著、永岩三千郎監訳『冷戦と福祉国家』

（共訳、日本経済評論社、二〇一四年）

ヴァンゼー会議記念館編著『資料を見て考える』

ホロコーストの歴史：ヴァンゼー会議とナチス・ドイツのユダヤ人絶滅政策』（共訳、春風社、二〇一五年）

一九三九年

誰も望まなかった戦争

二〇二三年三月二〇日 印刷
二〇二三年四月五日 発行

著者 フレデリック・テイラー

訳者 ◎ 清水雅大

装丁者 日下充典

発行者 及川直志

印刷所 株式会社理想社

発行所 株式会社白水社

東京都千代田区神田小川町三の二四

電話 営業部 〇三（三三九）七八二一

編集部 〇三（三三九）七八二一

振替 〇〇一九〇五三三三二八

郵便番号 一〇〇一〇五二

www.hakusha.co.jp

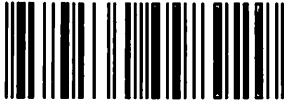
乱丁・落丁本は、送料小社負担にて
お取り替えます。

株式会社松岳社

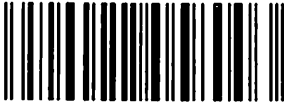
ISBN978-4-560-09892-9

Printed in Japan

本書のスクリーン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスクリーンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められていません。



9784560098929



1920022058003

ISBN978-4 560 09892 9

C0022 Y 5800E

白水社

定価[本体5800円+税]

1939 **Frederick Taylor**
A People's History
The War Nobody Wanted

現在の世界とそこに生きる
わたしたちの生活経験は、
第二次世界大戦が
勃発する直前の無秩序で
予測不能な世界と、
そしてこの時代を生きた
人びとの日々の生活経験と、
おそろしく似ている
部分がある。
それゆえに、
ヨーロッパの命運を
大きく左右し、
最終的に破滅へと至った
歴史的段階に身を置いていた
人びとが見ていたもの、
そして同時代の彼らには
見えていなかったものについて、
わたしたちは今こそ
よく考えなければならぬ。
〔序〕より